

オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを通して 芸術分野からは何ができるのだろうか？

パラムーブメントとアート～生きる力～

「パラムーブメント」とは、パラリンピックを通してより良い社会を作るための社会変革を起こそうとするあらゆる活動のことを指します。そこで今回は芸術分野からのパラムーブメントに焦点を当てた無料公開シンポジウムを開催いたします。異なるジャンルのアートの世界で、パラムーブメントの最先端で活躍するパネラーが、パラアートへのアプローチの方法・実践と課題、そして未来について語り合います。

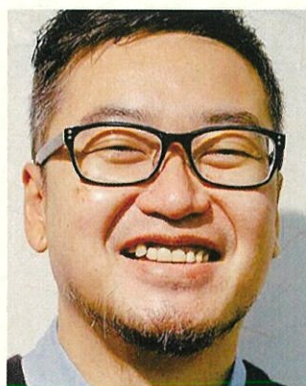


小山 久美

パネラー

公益財団法人
スターダンサーズ・
バレエ団総監督

慶應義塾大学文学部哲学科卒業。
1979年、スターダンサーズ・バレエ団入団。1984年、North Carolina School of the Artsに留学。文化庁在外研修員として渡米、翌年より、フロリダのタンパ・バレエ団に参加。帰国後は「ジゼル」をはじめ、当バレエ団公演の数多くの作品に主演。1992年、村松賞受賞。2003年、スターダンサーズ・バレエ団総監督に就任。2008年より昭和音楽大学短期大学部教授。



大平 暁

パネラー

アーティスト
アートディレクター
studio FLAT 主宰

多摩美術大学絵画専攻修士課程終了。アートが人をつなぐをテーマに作品制作。同時に社会活動でもある studio FLAT を運営。studio FLAT は、障がいのあるなしに関わらず FLAT にアート作品を見てもらい、作品の魅力をダイレクトに感じてもらうという活動です。アートが人をつなぎ、新たな未来をデザインし、未知なる表現の価値創出を続けています。2019年4月より共立女子大学非常勤講師。



江口 義実

パネラー

一般社団法人
ソーシャル・アーティスト・ネットワーク
代表理事

「アートで社会貢献」をモットーに2010年よりフルート奏者として活動開始。賛同アーティストと共に、川崎を主要活動拠点として、ノーマライゼーション、児童虐待防止・社会的養護支援、国際交流の各分野で活動を展開。ノーマライゼーション分野では、障害の有無に関わらず活動に参加できる「パラアート地域交流サロン」構想の下、音楽交流サロン「奏」（川崎授産学園）・アンサンブル「響」（ソレイユ川崎）ほかを推進。



巴 好子

コーディネーター

元田島支援学校校長

横浜国立大学教育学部養護学校教員養成課程を経て、昭和54年養護学校義務化の年に神奈川県立田島養護学校に異動し、親の会の活動や余暇支援に関わり、障害児教育から特別支援教育への移行の時期に、川崎市教育委員会指導主事として障害のある子どもたちの教育を学ぶ。管理職として、聾学校、田島支援学校に勤務。現在、教育委員会相談員として勤務。

2019年 2月9日 (土) 10:00~11:45 (開場 9:30)

会場 新百合21ホール (新百合ヶ丘駅 徒歩2分 / 新百合21ビル地下2階)

定員 150人 申込不要 当日、直接会場へお越しください。

アルテリッカホームページ <http://www.artericca-shinyuri.com/>

川崎市アートセンターホームページ <http://kawasaki-ac.jp/>

無料

